

「日本女性会議 2022in 鳥取くらよし」開催方針

1 ひとりひとりが幸せな社会(男女共同参画社会)を築く上での課題

男女共同参画社会は、未来の私たちの生活を考えるとき、とても重要な意味を持ちます。

現在、社会の問題として「人口減少」「少子高齢化」「貧困」等があげられます。いずれの問題も、「男性は仕事、女性は家庭(家事・育児)」といった性別による固定的役割分担意識や、そうした意識に伴う長時間労働、結婚・出産・育児を機とした離職あるいは雇用形態の男女の違い等が原因の一つとも考えられており、私たちを生きづらくしています。「人生100年時代」といわれる今、だれもが生涯を通じて活躍でき安心できる居場所づくり、多様なライフスタイルに対応する「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に向けた取り組みが急がれます。

また、男女平等を実現するためには、あらゆる分野で女性の意見が生かされることが大切です。近年増加している自然災害では、性別、年齢、国籍や障がいの有無など様々な特徴によって受ける影響が異なるため、男女共同参画の視点で、ニーズの違いに対応できる体制づくりや地域の災害対応力の強化が求められます。

私たちの行動や考えが性別によって決められるのではなく、だれにとっても幸せな社会を持続的に築いていくことが大切と言えます。

2 倉吉大会開催の目的及び方針(倉吉大会で大切にすること)

(1)「受け継いでいく男女共同参画推進の取組」

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①「性別、年代に関わりなく誰もが参画したくなる大会」(ともに築く持続可能な推進体制)②「地域の課題、特徴などを再確認する分科会とし、男女共同参画の視点を取り入れたまちづくりにつながる大会」(お互いを認め合う男女共同参画社会の形成)③「地域での女性リーダーの育成につなげる大会」(多様な個性を活かす女性の活躍の推進) |
|---|

1996(平成8)年に「くらよし男女共同参画プラン」を策定して以来、男女共同参画を推進する市民団体と行政が手を取り合って多くの事業を行ってきました。この市民の力を絶やすことなく、次の世代へバトンを引き継ぐため、この大会では、あらゆる年代の絆を深め、男女共同参画社会の実現に向けた持続可能な推進体制をつくることを目指します。

また、地域、職場などあらゆる環境において、女性も主体的な担い手であること、また女性男性それぞれの視点や意見が大切であることを皆が認識するためには、慣習の見直しや、私たち自身の意識を変えること、そしてお互いの様々な思いを受け止めることが必要です。

この大会では、互いの思いを知り、男性も女性も一緒になって学び合う分科会等を企画します。

(2) 「“くらしよし” 倉吉の魅力発見！そして全国へ発信！」

- ①「市民が大会を通して倉吉の良さ“くらしよし＝くらしよし”を再認識し、さらにまちの魅力を来訪者にPRできる大会」(交流で伝え合う倉吉の魅力)
- ②「鳥取・倉吉の魅力の発信(人、風土、食べ物、文化、交流)」

「倉吉に住んでいてよかった」と思えるまちづくりを進めるため、地域の課題を出し合い、皆が課題解決に取り組むと同時に、改めてふるさとについて考えることで、力を合わせ住みやすい地域をつくり、ふるさとへの思いをより大きなものにし、豊かなまちづくりにつなげます。

そして、倉吉ならではの歴史情緒あふれる町並みに息づく人々の生活や、大山山麓の豊かな自然に囲まれた田園風景など、今まで気付かなかった倉吉の魅力を知り、ふるさとへの思いとともに伝えることで、誰もが忘れられない大会にします。

また、様々な分野の人々が大会に参加・運営をすることで、異業種交流の促進と情報の共有を図りながら、「人・風土・食・文化・交流」に込められた倉吉らしさを、私たちが全国からの来訪者へPRすることで、「倉吉ファン」を増やし、大会後の交流人口の増加につなげます。